

令和4年度第9回安塚区地域協議会次第

日時：令和4年10月21日（金）午後7時から

場所：安塚区総合事務所 3階 301会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 協議事項

(1) 「新市建設計画の変更について」の諮問に対する答申について

(2) 「安塚かたくりの家の廃止について」の諮問に対する答申について

(3) 大・浦・安地域協議会委員研修会について **【資料 No. 1】**

4 報告事項

(1) 安塚中学校の廃止について **【資料 No. 2】【資料 No. 3】**

5 自主的審議事項

(1) 住みやすい安塚の在り方について **【資料 No. 4】**

6 その他

(1) 次回開催 令和 年 月 日（ ）午後 時 開会

7 閉 会

令和4年度「大・浦・安」地域協議会委員研修会 実施計画（案）

1. 目的

大島区、浦川原区、安塚区の地域協議会委員が一堂に会し、共通のテーマによる研修（有識者による講義等）を行うとともに、日頃の活動状況等について情報を交換することによって委員の資質向上を図る。

2. 日時

令和5年2月または3月

3. 会場

研修会：未定

情報交換会：未定

4. 内容

案	内容
1案	【総務常任委員会委員との意見交換】 地域自治区の在り方等について、総務常任委員会委員と意見交換を行う。
2案	【小田副市長講演】 今後の市政運営等について、小田副市長の講演を聞く。
3案	【名立まちづくり協議会 三浦会長講演】 「名立まちづくり計画」策定後の取組について、三浦会長の講演を聞く。
4案	【地域独自の予算についての研修】 地域独自の予算について、令和6年度以降に向けて自治・地域振興課の職員から参考となるような事例等の説明を受ける。

5. 出席者

- ・大島区地域協議会 12名
- ・浦川原区地域協議会 12名
- ・安塚区地域協議会 12名
- ・各区事務局

令和4年9月27日

(宛先) 上越市長

安塚区地域協議会
会長 松 苗 正 二

安塚中学校の廃止について（答申）

令和4年8月17日付け上教総第4468号で諮問のあった、諮問第114号：安塚中学校の廃止について、下記のとおり意見を付して答申します。

記

安塚中学校の廃止について、地域住民の生活に支障はないものと認めます。

なお、施設の特徴に応じた適切な維持管理を行うよう求めます。

上教総第5452号
令和4年10月20日

安塚区地域協議会
会長 松 苗 正 二 様

上越市長 中 川 幹 太
(教育委員会教育総務課)



安塚中学校の廃止について（通知）

令和4年9月27日付けで答申のあった諮問第114号：安塚中学校の廃止について、下記のとおりとしますので、お知らせします。

記

諮問のとおり、安塚中学校を令和6年3月31日付けで廃止することとし、市議会に所要の条例案を提出します。

なお、安塚中学校の廃止後は、施設の特徴に応じた適切な維持管理に努めます。

区分1:町内会長・自治会長と安塚区地域協議会との意見交換会の記録

	テーマ1	テーマ2-1、2-2	テーマ3-1、3-2	テーマ4
1班	<p>①無関心な人が多い。色々な懇談会や集会を開いても、参加する人は決まった人が多く、若い人も来ない。</p> <p>②鳥獣被害などの農業関係、地すべりや冬の除雪に対する行政の対応は早い。</p> <p>③今までは色々な要望を出しても、時間がかかり、聞き入れてもらえなかったが、今年度ぐらいからは迅速に対応してくれることが多くなった。県の関係は時間がかかる。</p> <p>④全般的に、若い人は行政に対して関心が低い。世帯主の立場になると、必然的に色々な要望等の話をすることができるようになるが、若い人は自分のことで精一杯で、なかなか地域の事に興味を持ってないのではないか。</p>	<p>①動員で参加したという方が多く、自由意志で参加したという人がどれだけいるのか、不透明である。</p> <p>②世帯数が少ない集落では、イベントやお祭りの参加が義務化され、ちょっとでも出なかったりすると、あそこの家は出なかったね、という話になるので、渋々出なきゃいけないという空気があるのではないか。</p> <p>③にこにこサロンや敬老会、町内会単位の運動会など、色々な催しがあるが、決まった人が参加することが多い。ただし、春祭りや秋祭り、神社関係の催しになると、ほとんど参加する人がいなくて、役員、高齢者のみの参加に留まることが多い。</p> <p>④世帯主になると、普段の会話の中で必然的に出てくるようになる。20代から30代は自分のことで精一杯で地域のことに無関心である。</p> <p>⑤高齢になると、地域の話しか出てこない。(田んぼはどうしたらいいか、冬の除雪はどうしたらいいか、屋根の雪はだれが掘ってくれるのか等)</p>	<p>①高校卒業と同時に、大学や専門学校への進学で県外に出られる方が多くて、そのまま帰ってこない。ただ、60代で一旦安塚区を離れた後帰ってくるという数字が高かったのも、外へ出たけれども、安塚へ帰ってきて、やりたいことを見つけるという人も一定数いるのではないかと。</p> <p>②住み続けるうえでやはり小売店の減少は影響するのではないかと。無印良品の移動販売のバスが来ているが、月1回ぐらいではなかなか難しい。もうちょっと回数を増やしてもらえるとよい。</p> <p>③乗合タクシーについて、免許返納等により足が無いという人のために、もうちょっとわかりやすい利用形態になるとよい。</p>	<p>①少子化と人口減少は止められない。結婚してしまくと、相手に合わせて自分の好きなことが出来なくなるという考えから、若い人で結婚しない、したくないという人が多くなってきている。若い人が結婚し、子供が増えて、人口が増えて、地域がにぎやかになるというふうに簡単にいかないのではないかと。</p> <p>②ターン、Uターンしてくる人に対して、子ども世代を対象にしたある程度の手当が必要ではないかと。</p> <p>③安塚区を選んで、実際に移住してきたという人の話も聞いてみたい。</p>
2班	<p>①質問が漠然としていてテーマが大きすぎる。</p> <p>②住民が直接行政へ言っても、現状、町内会長や自治会長を通していいのか、話をしてあるのかというふうに言われることが多い。そういったことも妨げとなり、住民の意見が行政に反映されていない、風通しが悪いと感じる原因になるのではないかと。</p> <p>③毎年地域懇談会が開催されているが、参加者が少なく、行政に対する関心が段々と薄くなっているのではないかと。人口減少が色々な政策全てに対して、悪い影響を与えているのではないかと。</p>	<p>①祭りや行事について、どこの集落も人手不足と高齢化が進み、なるべく人手を減らすように工夫をしている。</p>	<p>①人口減少は進んでいるが、その中でもUターン者、Iターン者が入ってきていることも事実である。例えば、大原では自衛隊の人が入ってきて、無農薬・有機栽培を始めている。牧野でも今年10月頃に長野からまた新しい移住者がやってくるということである。</p> <p>②畑ができて、作物が採れることは安塚区の魅力である。そういう条件を選んでやってくる人も必ずいる。</p>	<p>①大きなテーマであり、少しずつ解決していくべき問題である。</p> <p>②リバーサイドロードは安塚区の自慢の一つであるが、遊歩道等が現状非常に厳しく、寂しい感じになっている。全然整備されていない。もっと整備をすれば、安塚区全体もよくなるし、人ももっと来てくれるのではないかと。</p>

	テーマ1	テーマ2-1、2-2	テーマ3-1、3-2	テーマ4
3班	<p>①集落から要望を出しても採用されなければ、反映されてないと捉えられるかもしれないが、行政に対する不満といっても様々であり、人それぞれ捉え方も異なる。</p> <p>②一定の年齢以上の層は、合併前の状況も知っているが、若い人は以前の状況を知らないのでは、違いがあると思う。それが若い方がわからないと答える原因になっているのではないか。</p> <p>③集落ごとにまとまれば、地域活動支援事業の活用などの手立てがある。しかし、金額に限られるため、できることも限られる。地域独自の予算は、自治区で何千万円というふうに分配をしたり、所長決裁で使えるように決めたほうが良いのではないか。</p>	<p>①20代、30代は個人主義で、考え方ややりたいことが違う。しかし、小さな集落では、声を掛けて休みが合えば出てくれることもある。いずれにしても楽しむことを基本にすることが大切なのではないか。</p> <p>②人集めには仕掛けが必要であり、お金もかかるが、地域活動支援事業などを活用すれば実現できる。ただし、イベントなどは、新型コロナウイルスの影響で中止しているうちに元気がなくなっているという現状もある。人が集まってワイワイ楽しんでいくことが大切なのではないか。地域の課題を話すまでには至らないかもしれないが、そうやって少しずつやっていけば話をするタイミングもくるのではないか。</p>	<p>①高齢者は畑をするのが好きなので、それを活かすことができる方策があればよいのではないか。農産物を少しでも売れるような仕組みが作れるとよい。</p> <p>②個別に頑張るよりも、安塚区全体を見て動ける人が必要なのではないか。安塚区の特産物、加工品など、そういうものを作っていくためには、ある程度行政がリードする必要がある。</p> <p>③全体を見て動ける人には、指導者が入ってくるといいし、大学との連携があるとなおよいのではないか。</p>	<p>①若い人の住民税を格安にする、土地と家をタダであげるといった取組を行って見たらどうか。</p> <p>②このように意見を話し合う場を作ることは大切である。</p>
4班	<p>①昔は行政に安塚町出身の人が多くいたのでは、意見が反映されていたのではないか。現在は相談しても、集約先の浦川原区に確認する必要があるなど、安塚区単独の判断で動くことができない場合もあるのではないか。</p> <p>②知っている職員がいると話しやすいので、普段から気軽に話をするのが大切ではないか。</p>	<p>①若い人は仕事もあり、忙しいのではないか。20代、30代の人にはなかなか参加しにくい。</p> <p>②高齢化により、参加したくても参加できない人が多くいる。集落によっては、高齢化でケガも心配されるので、参加しなくてもいいという対応をとっている。</p> <p>③行事の見直しも喫緊の課題として検討する必要がある。</p> <p>④集落の役員を決めるのに苦労している。65歳や70歳を過ぎても働いている人がいるので、なかなか役員に入ってもらえない。</p> <p>⑤一人暮らしで車を持っていない高齢者が多くなっており、それでなかなか集まりにくいという面もある。</p> <p>⑥このままでいいとは思っていないが、解決策が見いだせない悩みもある。</p>	<p>①飲食店等が数えるほどしかなく、後退する方向へ向かっていて寂しい。中学校も2年後には無くなる。子供達とのふれあいが無くなると寂しい。</p> <p>②若い人が働く場所がない。キューピットバレイスキー場も働く場所になっているが、何年も続けて働く場所にはなっていない。</p>	<p>①高齢化を止めるのは難しいので、健康管理に重点を置いて、一歳でも長生きできるように、健康のまま長生きできるようにするための対策に力を入れた方がよいのではないか。</p>

区分2: 区内企業等と安塚区地域協議会との意見交換会の記録

	テーマ1	テーマ2	テーマ3	テーマ4
1班	<p>①先日開催されたちいさいまちの小さな花火大会について、人口が少ない中でも多くの来場者が見られた。他の団体からも協力していただき、例えば重機の展示、着ぐるみ、雪の滑り台など、色々と工夫を凝らして実施されていた。しかし、残念ながら、終わった後に上越タイムスなどでイベントを実施した旨の記事が掲載されていただけで事前の案内やアピールが足りていない。町内の方は結構参加されていたが、周りの区等からの参加が少ないように感じた。もっと広くアピールしたほうがよい。</p> <p>②行事関係については、人口からみて参加率が高い。周りの区や旧市では、こんなに多くの方が参加しているところはない。人口は少ないが、比率的には祭りなどに参加している方が非常に多いので、好ましい傾向である。</p> <p>③声をかけてもらえれば、地域振興局等の役所関係の職員も行事や祭りにどんどん参加するので、是非声をかけてほしい。</p>	<p>①上沼道について、色々な計画があるが、なかなか全面開通するまでには程遠い。それでも浦川原区から安塚区までは開通しているので、これをもう少し活用すれば、もっと上越から近くなるのではないか。看板が少ないので、上沼道を通らずに虫川から回って来る方もいるようである。安塚区まではなかなか時間がかかるとか、遠いというような声を耳にすることもある。国道253号から安塚区だけが離れているので、看板等を使って色々なものをアピールすれば、上沼道も含めてもっと目にとまるのではないか。</p> <p>②昔は安塚区に保健師が3名いたが、合併して現在は1人しかいないため、問題である。1人だけだとあまり顔が見えず、どうしても対応が遅くなったりする。昔は、保健師から色々声掛けがあったが、今は自分から聞かないと駄目になっているので、そういった点も住みづらい理由の一つになっているのではないか。</p> <p>③今後は、健康や雪対策などで他の区よりも高い満足度を得られるようなモデル地区を目指してはどうか。政治力によって、市の施策で実現してほしい。</p> <p>④NPO雪のふるさと安塚や福祉応援隊など、ほかの区に先駆けて導入されているものが多くあるので、そういったものもうまく活用してほしい。</p> <p>⑤空き家が多く、高齢者が多い。また、車が無いとどこも行けず、お店や若い人が遊ぶところがない。</p>	<p>①人がよく、愛情がある。人間性が高く、すごく親切にしてくれる。</p> <p>②直江津地区には高校がなく、全部が高田に偏っているように感じる。</p> <p>③看板が少なく、宣伝下手である。キューピットバレイや雪だるま物産館、直峰城などよいものがたくさんあるのに、もったいない。もっと頑張る必要がある。NPO雪のふるさと安塚が情報をもっと発信してほしい。</p>	<p>①国道253号に看板を設置する。</p> <p>②健康、雪対策等に特化したまちを目指す。</p> <p>③保健師を2人にする。</p>

	テーマ1	テーマ2	テーマ3	テーマ4
2班	<p>①20代や30代の参加が少ないのは、どこの区も同様である。その中で、例えば青年会やスポーツ関係のクラブといった小さい団体や集落単位で参加するような仕組みができるとよい。また、祭りをやる際には、子どもたちが集うブースを設置し、親子で参加できるような仕組みがあるとよい。</p> <p>②20代や30代については、気軽に参加できるような、例えば若い人同士の交流の場があったり、SNS等インターネットを利用して若者たちへ発信するといった仕組みがあるとよい。</p> <p>③祭りや行事などで若い人たちが中心となってやってもらうためにも、数名のリーダーがいると、その人が核となって、やってくれるのではないか。</p> <p>④20代や30代の人となかなか交流する機会がないので、そういう人たちと意見交換をする場があると、そこでいろんな意見を聞いて反映させることができる。</p>	<p>①安塚区に限らず、アンケート結果のとおり、後退している印象を持っている人が多いのではないかと。ただ、安塚区には四季折々のよさがある。</p>	<p>①リバーサイドロードの桜並木など自然が豊かである。しかし、桜並木がライトアップされていたり、非常に長い松崎から和田まで桜並木があるということ自体を知らない区外の方は多い。もう少しPRすれば、安塚区外からもっとたくさんの人に来てもらえるようになるのではないかと。</p> <p>②灯の回廊は幻想的でよい。</p> <p>③イベント等について、人口が減り、高齢化も進んでいるため、地元だけではなく、外部の方に協力を依頼しながらやっていく必要がある。</p> <p>④若者が何かをやろうとしているときは、できる限り年配の方も協力してあげるとよい。</p> <p>⑤どこの集落、区も同様であるが、若い後継者が本当にいない。今中心となって動いている人たちは40代から60代がほとんどであり、後継者を育てる努力もしていかなければいけない。</p>	<p>①例えば上越市や安塚区など地元で就職したいと考えた時、上越市内の企業に関する就職先の案内が一元化されてない。ここへ聞けば就職先のことがかかるというような、市内の企業案内をするようなところがあるとよい。特に地元へ戻ってきたいと考えている人にとって、わかりやすく、簡単に情報を得ることができるような仕組み、場所があるとよい。</p> <p>②安塚区内に住みながら市内の職場に通えることができるようになれば、安塚区に住み続けることにもつながると思う。そのためにも上沼道を早期に全面開通してほしい。</p>
3班	<p>①若者は活動的で仕事や子育て、生きるのに精一杯であるため、まだ地域の課題等について、そこまで話し合うことができていないのではないかと。若者もしっかりとした意見を持っていると思うので、大人が問題提起をして、意見を引き出してあげることが大切である。</p> <p>②行事について、高齢になって主催者側の立場で参加するのが体力的にも難しくなっているのではないかと。大きなイベントは人集めが大変で難しくなっていると思うので、いくつか小さな拠点作りに取組み、オープンガーデンや小さな喫茶店など、小さな単位で人が集える拠点を多く作った方がよい。</p>	<p>①安心というのは個人の判断であり、その人によって安心を感じる対象は違う。特に安塚区は雪が多いということが一つのネックになっている。</p> <p>②自身の職場の職員に話を聞いたところ、上沼道が全面開通すれば、上越市内からももっと通いやすくなるのではないかと話があった。</p> <p>③高齢者にとっては、雪下ろしが大変である。子どもと同居していない場合、頼れる人が少ないと感じる人が多いのではないかと。</p> <p>④Iターン、Uターン者を増やすのが理想であるが、それも現状ではなかなか難しい。</p> <p>⑤今安塚区に住んでいる高齢者に対しては、最後まで自宅に住むことができるようなサービスを提供できるとよい。また、周囲の人が助けてあげられるようなサービスも必要である。</p> <p>⑥雪をプラスに捉える人もおり、そういう人にとって雪は大きな魅力になる。非日常を味わえるということで雪上キャンプなどの体験が今流行っているが、そういった部分に力を入れて取り組むのもありではないかと。</p>	<p>①桜並木やリバーサイドロードは大きな魅力である。</p> <p>②雪が多くて困っている人は多いが、雪は魅力にもなり得る。</p> <p>③スキー場、雪だるま物産館など数多くの財産がある。人を呼び込むソースは大変多いが、アピールが不足しているのではないかと。</p> <p>④住民の意見が政策に反映されていない。</p> <p>⑤農業についてののみらい会議が3回ほど開催されているが、その中でたくさん前向きな意見が出ている。そのような情報を多く発信して、盛り上げてはどうか。</p> <p>⑥牧区や十日町市では棚田アートに取り組んでいるが、学生等に応援を依頼し、実施してはどうか。</p> <p>⑦どこが企画して、情報発信を行うべきか考えると、やはりNPO雪のふるさと安塚が中心になってほしい。目的をもった情報発信を行う必要がある。</p>	<p>①大学を出ても、安塚区内では働く場所がないが、上沼道が全面開通すれば、安塚区からも通いやすくなり、ベットタウンとしての需要が見込めるのではないかと。</p> <p>②中山間地の農業に関しては、Iターン者を使って元気にする方法が考えられる。実際に大島区の旭地区では、3人で起業をして米を販売するという取組をしている。また、安塚区内では細野で導入されているが、地域おこし協力隊によるまちづくりによって、働く場所を作っていくということも大切ではないかと。</p>

区分3: 区内活動団体等と安塚区地域協議会との意見交換会の記録

	テーマ1	テーマ2	テーマ3	その他
1班	<p>①どの団体においても高齢化が進み、新規会員が入ってこない。ほとんど活動に参加していない会員もいる。</p>	<p>①移住後、将来にわたって住み続ける人がどれだけいるか。数年後には空き家にして出ていってしまう人もおり、危険空き家等の問題につながっている事例もある。</p>	<p>①安塚の春の祭り、夏の盆踊り等の行事は地域の宝であり、地域へ戻ってきた人には喜ばれる。</p> <p>②菱ヶ岳は非常に登りやすい山であり、春の水芭蕉や紅葉もきれいである。また、信越トレイルも地域の宝として残すべきである。</p> <p>③リバーサイドロードの桜とスキー場、温泉、城山は地域の宝として残してほしい。ただし、リバーサイドロードについては、折れた枝がそのままになっていたり、歩道が草だらけになっているなど、手入れがなされていない。</p>	<p>①課題として、最近安塚区は元気がなくなっている。40代から60代の人の人数も少なく、忙しいからか何もしたくないという人がいる。</p>
2班	<p>①以前は施設を運営していたが、高齢化等によって店じまいしてしまった。</p> <p>②春の祭典を六夜山の山頂で実施していたが、新型コロナウイルス等の影響でできなくなってしまった。【NPO自然王国ほその村】</p> <p>③長さ16メートルくらいのしめ縄作りを行っているが、作れる人が少なくなっている。伝統の継承が必要である。【坊金の杉を守る会】</p> <p>④行政等が牽引役となつてなにか行事や事業を実施できるとよい。</p> <p>⑤年間を通して実施できる行事があるとよい。</p> <p>⑥事業等を行うときには、ほかとの差別化や商品に付加価値を付ける、目的を明確にするといった意識が必要である。情報発信の仕方が特に重要である。</p>	<p>①20歳未満と40代で子育てや教育環境について満足していると回答した人の割合が非常に高くなっているの、実際にそういう方からお話を聞いてみたい。どのような点をよと感じているのか聞いてみたい。</p> <p>②誰かに相談したり、助けを求めたりしたことがあると回答した人の割合が高くなっているのは、この地域ならではの数値だと思う。都会だと低くなるのではないか。</p> <p>③一時安塚区を離れていたが、その後戻ってきたと回答した人の割合が高いのは、非常によいことであると思う。</p> <p>④住民の意見が行政に反映されていないと思うと回答した人の割合が高くなっているのは、行政と住民に距離感があるからではないか。</p> <p>⑤南魚沼市では大学、高校に海外から学生が来ている。観光系の雑誌に掲載されるだけでそれを見てみんなが行く。</p> <p>⑥区外から多様な人たちに来てもらえるような仕組みがあるとよい。</p>	<p>①現在行っている各活動団体の活動を今後も継続できるとよい。</p> <p>②その土地のことを知ったうえで地域の伝統や成り立ち等を発信できるとよい。個別の取組ではなく、横のつながりが大切である。</p> <p>③六夜山荘や小さな空で提供されている田舎料理を残して行ってほしい。</p>	

	テーマ1	テーマ2	テーマ3	その他
3班	<p>①女性市議との意見交換会などを行っているが、子育て世代は特に余裕がないため、参加が難しい。【雪のまちいきいき女性ネットワーク】</p> <p>②少子化対策に取り組むのは難しいが、今ある条件の元で、できることをやっていく。そのためには、地域の協力が不可欠である。【安塚区子ども健全育成会】</p> <p>③1人暮らしの高齢者とのつながりをどうやってつくるかが課題である。【安塚区老人クラブ連合会】</p> <p>④農産物のPRなど、インターネットを活用して新しくできることは多い。しかし、アグリワーケーションなど、個人の活動では難しいものもある。他の自治体では、組織や仕組みを作って取り組んでいるが、上越市にはそれが残念である。安塚区としてそういったものをつくれればいいのか。【安塚の四季】</p>	<p>①地域協議会でアンケートを実施したのは、とてもよいことである。安塚区の住民の地域への期待も感じられた。</p> <p>②除雪対策については、より具体的に何について困っているのか、掘り下げたほうがいいのか。</p> <p>③各年代で安塚区に暮らし続けたいと思っている人や安塚区に戻ってきた人、移ってきた人が多いと感じた。これを掘り起こしていくとよいのではないか。地域に魅力があれば戻ってくるのではないのか。</p> <p>④近年、新しい事へ挑戦した人が多く、意欲的であると感じた。活動団体も多く、頼もしい。それらが連携していく、そしてそれをどこかが束ねていくとよいのではないのか。</p>	<p>①キューピットバレイを活かすことが大切である。花火は安塚区内よりも、区外から観に来た方が多かったようである。</p> <p>②雪室の活用が大切である。</p> <p>③道路除雪がとてもよい。</p> <p>④安塚区はとても環境が素晴らしいので、上沼道が早く全面開通して、市内等へ行きやすくなるとよいのではないのか。安塚区内は、空き家はあるけれども、仕事はないというのが大きな問題であるが、市内へ通勤して、ベットタウン化するののも一つの手ではないか。</p> <p>⑤安塚区内に仕事を作るのは現実的に難しく、いかに市内へ通勤しやすくするかが大事なのではないか。</p> <p>⑥休耕田を活用して、よもぎ、薬草、うど、ぜんまい等の栽培に取り組んでみたらどうか。ぜんまいはインターネットでとても売れる。休耕田はマイナス要素でもあるが、そういった活用によってプラス要素に変えていくこともできるのではないのか。</p>	

区分4: 安塚分校生徒と安塚区地域協議会との意見交換会の記録

	テーマ1	テーマ2	その他
1班	<p>①自然が豊かである。</p> <p>②生徒の人数は少ないが、先生から非常に親切に優しく教えてもらっている。人数が少ないため、体育館が広く使えてよい。</p> <p>③人数が少ないと色々な学校の役などを掛け持ちしなくてはならず、大変である。</p> <p>④学校の周りにお店が少なくて困っている。</p>	<p>①自然がすごく豊かで、春の桜や秋のヤマギバヒマワリがきれいである。落ち着く。</p> <p>②スキー場があり、スキーヤーやスノーボーダーが来て楽しんでいるというところがよい。</p> <p>③冬はキャンドルロードがすごくきれいである。田んぼがたくさんあって、田植えから、今の稲刈りの時期にかけて風景が非常にきれいである。</p> <p>④山菜がたくさんあってよい。</p> <p>⑤地域の皆さんが親切である。</p>	<p>①学校の中で話し合った際、自然の中に喫茶店があるとよいのではないかという意見があった。</p> <p>②安塚区の魅力を情報発信していくことが非常に大事である。InstagramなどSNSには色々なツールがあるが、そういったもの活用して発信すると、安塚区の魅力が広まって、それを見た若い人たちが他の地域から来てくれるのではないかと。</p>
2班	<p>①勉強も含めて学校が楽しい。</p>	<p>①自然が豊かで動物も多い。キャンドルロードのときの雪のアートが素晴らしい。リバーサイドロードの桜や教室の窓から見える空がきれい。</p> <p>②雪が嫌だという人もいるかもしれないが、雪が降ることがよい。キューピットバレイスキー場もよいところである。</p>	<p>①働く場所、お店が少ない。高校から虫川大杉駅までの間、街灯が少なく夜は怖い。若者受けするものが少ない。</p> <p>②住み続けたいと思えるまちにするためには、町おこしをしたり、動物園のような動物と人が触れ合える場があるといいのではないかと。キャンプ場をもっと充実してほしい。安塚区内にスーパーやお店があり、その中で暮らしていけると感じられれば住みたい。働く場所があれば戻ってきたい。</p> <p>③働く場所について、キューピットバレイ、アパレル関係のお店、美容室で働きたい。</p> <p>④お店を増やすためにクラウドファンディングで資金を集めるなど、色々なことに取り組んでみてはどうか。</p>
3班	<p>①校舎がきれいで、空気もきれい。きれいな風景がある。</p> <p>②人数は少ないが、全学年仲がよい。</p>	<p>①自然が豊かである。温泉とスキー場があって、ウインタースポーツで利用されている方が多い。</p> <p>②雪の量が多く、除雪が大変で降りすぎると雪のやり場がない。しかし、雪が多いからこそ、スキーができて、雪冷房や雪室等に雪を活用することもできる。イベントについても冬のキャンドルロードが素晴らしく、生徒みんなで高校の前にキャンドルロードの作品を作り、夜に家族で見に来た。</p> <p>③道路除雪が素晴らしい。</p>	<p>①学校では1年を通して色々なイベントがあり、直近では10月21日にリバーサイドロード等でマラソン大会が行われる。リバーサイドロードの掃除を先生が一人でやっているが、非常に大変である。折れた枝や雑草の処理などをお願いしたい。(板尾から旧雪だるまクリニックまでの辺りを走る予定)</p> <p>②キューピットバレイについて、夏場に何をやっているのかよく分からない。キャンプ場はあるが、キャンプ以外のものは何かないのか。可能であればゴンドラも動かしてほしい。</p> <p>③昔は、ニホンカモシカはキューピットバレイまで行かないと見られない動物であったと思うが、最近は高校のグラウンドにも頻繁に出て来て、割と親しみやすい動物になってきている。危険ではあるが、クマやカモシカも見られるというようなよい方のアピールをすることができる看板を設置してはどうか。</p>

区分4: 安塚中学校生徒と安塚区地域協議会との意見交換会の記録

	テーマ1	テーマ2	その他
1班	<p>①冬期間は大雪で家の除雪の手伝いや登下校が大変である。</p> <p>②よい仲間ばかりで授業や部活動が楽しい。学校生活全般が楽しい。授業は全教科好きである。</p> <p>③部活は陸上、吹奏楽、バレーがあり、部活のほかにサッカーをしている生徒もいる。</p> <p>④1年生から3年生まで全員仲がよく、生徒同士や先生も含めて気軽に話をする事ができる。</p> <p>⑤コロナが収束し、多くの行事ができるようになったら、積極的に参加したい。若い人たちがたくさん参加するような行事もやってみたい。</p>	<p>①ヤナギバヒマワリが素晴らしいので今後も残してほしい。また、ヤナギバヒマワリだけでなく、道端に何気なく咲いている花や教室から見る風景も素晴らしい。自然が豊かで生き物が多く、野菜が美味しい。</p> <p>②リバーサイドロードの桜も素晴らしく、できれば桜だけではなく、秋の花も見られるようになったらさらによい。</p> <p>③雪冷房は環境面からみても非常によい。</p> <p>④地域の行事が魅力的である。</p>	<p>①授業以外でも先生と一緒に何かに取り組んでみたい。地域の皆さんともっと交流してみたい。</p> <p>②歩行天祭りを復活してもらいたい。</p> <p>③Aコープなどのお店がなくならないようにしてもらいたい。</p> <p>④安塚区は自然が豊かなので、自然を生かした産業ができるとうい。</p>
2班	<p>①少人数のため、球技などができない。部活の数が少ない。体育祭などの準備の負担が大きい。</p> <p>②全校生徒仲がよい。</p> <p>③一人一人が先生から丁寧に教えてもらえるし、先生の声がよく聞こえる。</p>	<p>①自然が一番の魅力である。昆虫やヤナギバヒマワリ、田んぼや畑、冬の雪遊び、スキー場があってよい。</p>	<p>①Aコープの近くにある児童遊園にもっと遊具を設置してほしい。</p> <p>②スケートボードやロードバイクが楽しめる施設を設置してほしい。都会と違って安塚区では自然の中で広々と楽しむことができるので、そういった施設が今後できると一つの魅力になるのではないか。</p>
3班	<p>①人数は少ないが、会話が活発で楽しい。学年関係なく全校生徒仲がよく、先生とも仲がよい。</p> <p>②雪室と雪冷房があるため、夏でも快適である。</p> <p>③iPadを使えるようになってからは、連絡が楽になり、みんなの意見を聞いてよい。</p> <p>④学校の中でよく意見交換を行っており、その際にはまず1対1で意見交換をしてから、グループで意見交換をしている。</p> <p>⑤意見の共有ができており、アットホームな感じがよい。</p> <p>⑥少人数であることのマイナス点として、部活の数が少なく、同じ競技、種目をやっているのが自分一人しかいない。担当する役が増えてしまう。行事ではできることが限られてしまう。</p> <p>⑦みんな仲がよく、相手のことをわかっているが故に気遣いに欠けてしまうことがある。</p>	<p>①自然が豊かで、お米などの食べ物が美味しい。</p> <p>②地域の皆さんが下校時などに声をかけてくれて優しい。</p> <p>③道路にゴミが落ちていることが少なく、自然を大事にしている。</p> <p>④スキー場が近くにあって、行きたい時にいつでも行けてよい。</p>	

	テーマ1	テーマ2	その他
4班	<p>①学校は階段が多いので、バリアフリーに適した学校にしてほしい。</p> <p>②人数が多ければ友達ができ楽しいし、行事も色々できるので、不便さを感じる場面がある。</p> <p>③大会等に出場する際、先生が引率してくれるが、学校に残る先生が少なくなってしまうので、人数を増やしてもらって、勉強も充実してほしい。</p> <p>④冬期間歩いて通っている生徒もいるが、下校時に歩道の除雪が間に合っていないと歩きにくいことがあるため、改善してほしい。</p>	<p>①山のうえのコンサートなど、行事が多くて素敵である。</p> <p>②静かで自然が多い。花が多くて楽しめる。</p> <p>③地域の皆さんが優しく親切である。登下校の際にあいさつしてくれる。</p> <p>④地域活性化に取り組んでいる。</p>	<p>①高齢化が進んでいる中で自然を守るためには、ゴミを落とさないようにする、ゴミ拾いをちゃんとやって町をきれいにするのが大切である。</p> <p>②イベントで若い人たちを集めて、安塚区のよいところを見てもらい、好きになってもらうことによって、若い人が定住できるようになるとよい。</p> <p>③もっとたくさん花を植えてイベントを行えるとよい。山や森を管理することも重要である。</p> <p>④将来的には、近くにスーパーや図書館があるとよい。医療機関が充実し、カフェや小さい子どもが遊べる場所があるとよい。</p> <p>⑤安塚区の魅力を発信するためにTwitterやブログによる情報発信や特産品のネット販売に取り組んではどうか。</p>